

● 地域を豊かにする私たちの活動

私たちの活動は「教育」と「子ども」をキーワードに、子ども世代だけでなく、コミュニティ全体の豊かさを創造するという意味合いもあります。

- ・多世代のふれあいで、人と人のつながりの豊かな地域社会を目指す活動
- ・生きがいがたくさんあるまち、共に生きる地域社会をつくる活動
- ・守り守られる安心安全なまちを目指す活動

このような私たちの活動が「豊かさ」とか「幸福感」という社会の富を作り出す活動として考えると、なにか楽しくなりませんか。



● 一緒に活動しませんか？

地域教育会議の持っている可能性はとても大きなものがあります。この活動は川崎市の教育改革にもつながるものです。子どもたちのために、そして私たち自身のために、今一緒に活動しようではありませんか。夢や希望をもって、新しい川崎の未来を切り拓きましょう！

作成：川崎市地域教育会議推進協議会（平成29年5月発行）
 お問い合わせ（川崎市地域教育会議推進協議会事務局）
 川崎市教育委員会事務局 生涯学習推進課
 〒211-0004 川崎市川崎区宮本町6
 Tel 044-200-3309 Fax 044-200-3950

ホームページ で検索 🔍

地域教育会議は地域の寺子屋事業にも様々な形で協力しています。



私たちのめざすもの

子どもがいきいき育つまち おとなも楽しく学べるまち



地域教育会議

川崎市地域教育会議推進協議会





● 地域教育会議ってなあに？

地域教育会議の誕生

1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起き、教育の危機が指摘されました。そこで川崎市では、市内の全小学校を会場に教育集会を開催。242か所、参加者延べ4万人から出された6500件の意見をもとに、地域からの教育改革をめざして「地域教育会議」が提案されました。平成2年に3中学校区で試行設置され、平成10年には51中学校区、7行政区すべてに設置されました。

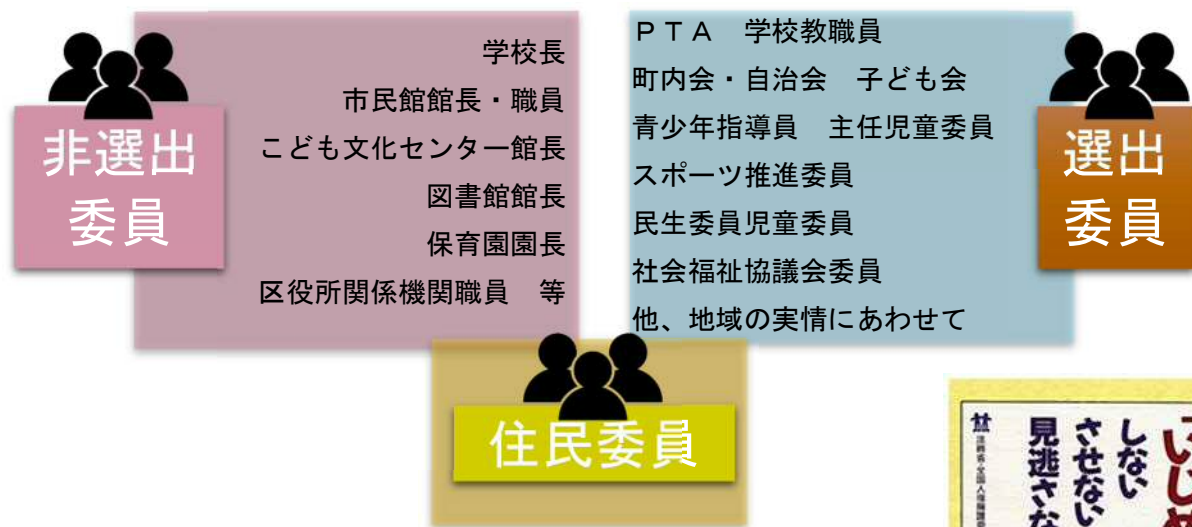


地域教育会議のめざすもの

地域と学校、行政が共に協力して子どもがいきいき育つまちを作ろうというものです。そして、おとも楽しく学べるまち、ひいてはあらゆる人々が共に生きる地域社会をめざします。

● 委員構成

子どもに関わる機関団体と住民委員がネットワークを活かして活動します。



● 主な活動

会の運営では話し合いを大切にしています。そこでの合意形成が様々な取組を生みだします。具体的な取組としては「教育を語る集い」と「子ども会議」の開催があります。その他の活動はそれぞれの会で創意工夫されて行われています。また、地域からの教育改革をめざすこの会の重要な活動として、学校や行政への提言があります。



● 子ども会議の開催

地域教育会議の活動の中で大きなウェイトを占めているのが子ども会議です。

川崎市が平成13年に施行した「子どもの権利条例」の趣旨に基づいて行われているのが子ども会議です。

子ども会議ホームページ で検索 🔍



● 地域教育会議の特長

参画協働

行政・学校と地域が協力しあって会を運営します（協働）。そこには市民・住民の自覚と主体性をもって、地域の教育活動に参画していこうという熱意が期待されています。同時に行政・学校からは市民・住民へのパートナーとしての信頼と地域の教育力への期待が込められています。

3つの教育力の連携

教職員・保護者・住民が学校教育と家庭教育、社会教育のそれぞれの枠を超えて、対等な立場で、子どものための共同の事業への参加者として、協力し、実践していくことが、子どもの育ちをより豊かなものとしていくと考えられています。

ネットワーク

この会は多様な立場の人たちが委員として参加しています。この会自体がネットワークとなっています。委員はそれぞれの立場から情報提供し、幅広いネットワークを生かして合意形成を図り、課題に対してそれぞれの立場から知恵と力を出し合って共に活動しています。

● 多様な体験が子ども達の豊かな成長、生きる力を応援します



☆世代間交流で遊びや暮らしの文化、よき伝統を次の世代に承継。伝承遊び、挨拶運動、マナー教室。

★自然のよさ、楽しさにふれる活動。アウトドア活動、生き物観察、冒険遊び。

☆社会貢献で子どもの自己肯定感アップ。地域清掃、募金、ボランティア、地域行事参加。

★将来の夢、職業選択に役に立つ知識や体験。職業体験、企業見学。

☆安全、安心なまちへの様々な活動。こども110番、防災教室、安全マップ、居場所づくり。

